

令和6年度 事業報告

1 自転車の安全利用に関すること

(1) 安全・安心な自転車利用促進事業

イベントにおける啓発活動のほか、ビワイチをはじめとする観光面や日常生活面での安全な自転車利用を促進するため、自転車安全利用指導員を委託し、交通安全教室や自転車安全利用啓発、自転車販売店に対する指導を実施した。

- ・ビワイチの日関連イベントでの啓発
- ・自転車安全利用指導員

交通安全教室 52回 (4,465人)

街頭啓発 233回 (118,117人)

ビワイチ参加者への啓発 207回 (1,622人)

(2) 安全利用WGの開催

令和7年3月に1度開催(対面開催)

11の機関・部署が参加し、下記の内容について報告および協議を実施した。

- ・令和6年度中の交通事故情勢について

交通事故全体に関して、死者数は減。一方、件数および傷者数は増加傾向。

自転車事故に関して、死者数は減。一方、件数および傷者数は増加傾向。

- ・令和6年度自転車安全対策事業の実施状況および令和7年度自転車安全対策事業の実施予定について

各機関からの事業の実施状況を報告した。

- ・その他情報共有

令和6年度より、近畿府県における交通安全施策の紹介および自転車指導啓発重点地区・路線に関する情報提供を追加。

2 自転車ツーリズムに関すること

(1) 事業の目的

ナショナルサイクルルート指定を契機として、受入体制や情報発信のさらなる強化に取り組むことで、「ビワイチ」を国内外からの来訪者の人々が安全かつ安心して楽しめるトップブランドコンテンツとして確立させ、琵琶湖を中心に県内全体に広がる多様な資源を活かした周遊観光の推進はもとより、地域活性化へとつなげる。

また、民間企業の進出や連携の促進を通じて推進体制を強化し、サイクルツーリズムのさらなる加速化を図る。

(2) 事業内容等

項 目	概 要
<p>(1) 魅力向上と創出</p> <p>① ビワイチ商品開発支援事業 497,980 円</p> <p>② ビワイチ・プラス等デジタルスタンプラリー事業 685,205 円</p>	<p>ビワイチの魅力向上に向けて、滋賀ならではの観光資源の磨き上げや新たな観光コンテンツの創出、サイクリストと地域住民の相互理解のためのマナー向上に取り組んだ。</p> <p>「ビワイチの日」の機運醸成を目的として、地域の特産品等を活用したビワイチ商品の開発を支援し、ビワイチのブランド力向上を促進した。</p> <p>ビワイチ商品開発費:496,000 円</p> <p>諸経費:1,980 円</p>  <p>県内各地の魅力ある観光資源を活用したデジタルスタンプラリーの開催を支援し、身近な地域における自転車散策を推進した。</p> <p>・10月17日～11月17日（近江八幡市）</p>  <p>委託費:679,800 円 委託先:株式会社ナビタイムジャパン</p> <p>諸経費:5,405 円</p> <p>参加者数:482 名</p>

③ サイクリングマイレージ推進事業

1,129,924 円

「サイクリングマイレージ」を活用したマイレージ事業の運営およびその活用に必要な広報・啓発を実施した。

マイレージスポットは、湖岸にとどまらず、内陸にも設定し、県内全域でサイクリングが楽しめるよう工夫した。

第4期参加者数：420名（令和7年3月末時点）



運営管理費：600,000 円

委託先：株式会社ナビタイムジャパン

第4期追加開発費：459,800 円

委託先：株式会社ナビタイムジャパン

広報費：67,504 円

委託先：自転車ライフプロジェクト

諸経費：2,620 円

④「ビワイチの子」体験促進事業

1,485,054 円

滋賀県内の魅力ある4つのエリアで、募集型の子ども向けのサイクリングガイドツアーを開催した。

参加者数

湖東：8名 湖西：13名

湖北：30名 湖南：15名

※湖南編は低温の関係で

午後からの開催。

委託費：1,450,384 円

委託先：NPO 法人五環生活

PR 費：34,670 円



⑤サイクリングガイドツアー振興支援事業
100,000円

サイクルツーリズム「ビワイチ」を通じて、観光の振興および地域の活性化を図る一環として、ビワイチ関係事業者向けに、自転車事故に伴う保険適用や、訴訟を回避するための留意事項などを情報提供し、新たなサービスの展開の可能性について検討会を開催した。

○講習会

- ・開催日時：令和7年3月17日（月）
- ・開催場所：ZOOM
- ・参加者：8名（スタッフは含めない）

実績費：100,000円

委託先：びわ湖のカナタ

⑥サイクリスト向け安全啓発リーフレット
1,100,770円

サイクリスト向け安全啓発リーフレットを作成し、自転車販売店やレンタサイクルショップ、サイクルサポートステーションへ配架することにより、安全啓発を実施した。

サイクリストの心得である「ビワイチマインド」を分かりやすく説明する内容であること、サイクリストの間で「サイクリーマン」ファンが多いことから効果的な安全啓発が実施できた。

○具体的な活用内容

- ・「ビワイチの子」参加者へ配付
- ・「ビワイチの日」エイドステーション来場者への配布
- ・「サイクルモードライド大阪」来場者への配布
- ・「グランドサークル東京」来場者への配布
- ・サポステ施設、レンタサイクル施設等での配架

漫画「サイクリーマン」広告宣伝使用料：1,100,000円

諸経費：770円



⑦サイクリング体験・安全教室
391,170 円

新たなサイクリング人口の創出に向けて、親子がサイクリングを始めるきっかけになるよう、自転車の試乗体験イベントを開催した。

開催時期：5月18日（土）

開催場所：滋賀県希望が丘文化公園

参加者数：159名

委託費：390,950円

委託先：NPO 法人五環生活

諸経費：220円



⑧「ビワイチの日、ビワイチ週間」
推進事業
4,093,701 円

広くビワイチについての関心と理解を深めるとともに、ビワイチへの意欲を高め、愛着と誇りを育むため、自治体と連携しながら「ビワイチの日」「ビワイチ週間」に集中的にイベントを開催した。

広報や道路情報掲示板など様々な媒体を活用して広報・周知するとともに、県民が気軽にビワイチを楽しめるようイベントを開催することにより、県民のビワイチ体験の定着を図った。

○イベント運営

日時：2024年11月2日～11月9日

※11月2日は荒天により中止

内容：3名による記念ライド、「ビワイチの子」子ども向けサイクリングガイドツアー湖西編の開催、エイドステーションの開設（守山、彦根、長浜、高島）

エイドステーション来場者数：11月3日 1,040名

11月4日 686名

委託費：3,896,200円

委託先：株式会社 JTB 滋賀支店

広報費（ビワイチの日特設サイト）：194,291円

委託先：自転車ライフプロジェクト

諸経費：3,210 円



2. 受入環境整備

⑨ サイクルサポートステーション研修会
100,000 円

より良い走行環境を整備するための取組を行った。

サイクルサポートステーション登録施設の「おもてなし」力の向上を図り、サイクリストの満足度を向上させるため、サービスの事例紹介など様々な情報を提供するサイクルサポートステーション向け研修会を開催した。

開催日程：2月3日（月）（高島会場）

2月4日（火）（草津会場）

参加者数：29 施設

委託費：100,000 円

委託先：一般社団法人輪の国びわ湖

※サイクルサポートステーション登録施設数：358 施設（令和7年3月末時点）

⑩ 「サイクリストにやさしい宿」
利用環境促進事業
100,000 円

滋賀を訪れるサイクリストが快適に、安心して宿泊できる認定施設「滋賀県サイクリストにやさしい宿」のサイクリストの更なる利用を促進するため、「おもてなし力」向上のため研修会を実施するとともに、情報発信を行った。

（サイクルサポートステーション研修会との合同開催）

<p>⑪レンタサイクルワンウェイ事業 831,310円</p>	<p>開催日程：2月3日（月）（高島会場） 2月4日（火）（草津会場）</p> <p>参加者数：12施設 委託費：100,000円 委託先：一般社団法人輪の国びわ湖</p> <p>※サイクリストにやさしい宿認定施設数：57施設（令和7年3月末時点）</p> <p>利用しやすいレンタサイクル環境の整備を促進し、自転車による多様な楽しみ方を広げるため、ナショナルサイクルルート「ビワイチ」のゲートウェイ拠点（大津港サイクルステーション、米原駅サイクルステーション）の途中返却拠点を拡大した。</p> <p>【事業内容】 途中返却の運用：184,800円 委託先：ヤマトマルチチャーター株式会社 稼働率：35%（回収台数／回収台数＋支援台数）</p> <p>サイクルサポートステーション・サイクリストにやさしい宿向け講習会における途中返却拠点の魅力発信：361,115円 委託先：輪の国びわ湖推進協議会</p> <p>レンタサイクル途中返却拠点モデルプラン造成：277,490円 委託先：宮川印刷株式会社</p>  <p>諸経費：7,905円</p>
<p>⑫ビワイチサイクリングナビアプリの活用推進 6,167,920円</p>	<p>「ビワイチサイクリングナビ」アプリを活用し、自転車周遊を促進させ、ストレスフリーな受入環境整備を図った。</p>

<p>⑬アプリを活用したデータ解析 3,872,837円</p>	<p>実施内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ①OS 更新に伴うアプリ検証・修正、サーバー運用、 ②配信管理、アプリ利用状況集計、アプリ不具合対応 ③ビーコン点検、エコカウンターバッテリー交換、等 <p>○運営活用業務 1 委託費：5,196,400円 委託先：株式会社ナビタイムジャパン</p> <p>○運営活用業務 2 委託費：968,000円 委託先：株式会社ナユタ</p> <p>諸経費：3,520円 アプリ DL 数：70,659（令和7年3月末時点）</p> <p>琵琶湖一周サイクリング体験者数の測定に加え、県内各地を周遊するビワイチ・プラスルートの体験者数および経済波及効果の解析方法を新たに確立するとともに、県全体のサイクリング体験者数、サイクリスト特有の行動形態、観光消費額等を属性分析し、新たな観光資源の発掘等に活かした。</p> <p>○動態分析 委託費：2,524,500円 委託先：株式会社ナビタイムジャパン</p> <p>○「ビワイチ・プラス」ルートにおける実地計測 委託費：1,077,397円 委託先：一般社団法人輪の国びわ湖、(公社)滋賀県シルバ一人材センター連合会</p> <p>○アンケート分析業務 委託費：267,410円 委託先：産業能率大学経営学部教授 都留 信行</p> <p>諸経費：3,530円</p>
--------------------------------------	---

<p>3. 魅力発信</p> <p>⑭ビワイチ・プラス等イメージアップ推進事業 187,220 円</p> <p>⑮全国イベント等と連携した魅力発信事業 2,158,780 円</p>	<p>琵琶湖一周サイクリング体験者数（推計値）11.9 万人 経済波及効果：21.2 億円 宿泊割合：44% 県外割合：65.5%</p> <p>琵琶湖一周の「ビワイチ」ルート、県内の観光地や景勝地等を周遊する「ビワイチ・プラス」ルートを多くの人に注目してもらうため、国内外に向けてプロモーションを実施した。</p> <p>「ビワイチ・プラス」の多様な楽しみ方を紹介する動画を編集した（既存動画[インバウンド向け]を短編化）。 編集した動画は、ビワイチ公式ウェブサイト（英語ページ）に掲載。</p> <p>ビワイチ魅力発信映像の短編編集：187,000 円 委託先：株式会社ライダス</p> <p>諸経費：220 円</p> <p>日本最大の自転車フェス「サイクルモードライド」等の全国のイベントに出展することや他県と連携した取組を実施することで、「ビワイチ」の魅力を発信した。</p> <p>（主な取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「サイクルモードライド大阪 2025」出展 市町や民間事業者と連携し、ビワイチブースにおける PR やチラシ配布等を行った。 日程：3 月 1 日 / 3 月 2 日 参加者数：12,258 名（2 日間合計） 委託費：700,255 円 委託先：水色舎 PR 資材印刷費：5,160 円 ・福井県と連携したモニターツアー 日程：11 月 23 日 参加者数：15 名（定員）
--	--

<p>4. 推進体制強化</p> <p>⑬アドバイザーを活用した多様な連携推進 3,202,020円</p>	<p>委託費：299,750円 委託先：株式会社ライダス</p> <p>・台北におけるビワイチPR 日程：3月24日 / 3月25日（プロモーション実施日） 委託費：675,000円 委託先：株式会社A-biz</p> <p>ビワイチ推進施策は、国、市町、関係事業者、関係団体との連携・協力が不可欠であるため、プラットフォーム機能を担っている「滋賀プラス・サイクル推進協議会」による取組を活性化した。</p> <p>サイクリストのニーズと事業者が持つシーズのマッチング、各施設でのサービス向上に向けたコンサルティング、アプリ広告枠等の営業活動等の実施に向け、官民連携による事務局体制の充実化を図った。</p> <p>委託費：3,100,000円 委託先：水色舎</p> <p>諸経費：102,020円</p>
--	--

3 情報発信に関すること

(1) 滋賀プラス・サイクル推進協議会ホームページでの情報発信

年間アクセス件数：34,660件

委託先：自転車ライフプロジェクト

委託費：582,000円

【発信内容】

- ・自転車交通ルール
- ・サイクリングマップ
- ・滋賀県自転車の安全で適正な利用の促進に関する情報
- ・自転車店、レンタサイクル、駐輪場等の自転車の日常利用に資する情報
- ・サイクルツーリズムに関する情報
- ・自転車通勤の推進に係る情報
- ・自転車事故をはじめ自転車の安全啓発に関する情報

- ・その他自転車の利用促進のため必要な情報
- ・問合せ対応 27件

他

(2) 情報発信WG

プラスサイクルホームページでの発信内容（自転車交通ルールやサイクルツーリズム等に関する最新情報等）の充実に向けて、コンテンツの更新や機能追加、情報発信の改善などを協議している。

開催日：令和7年2月21日（金）

内容

- ①Webサイトの掲載内容および閲覧数等の報告を行った。
- ②今後の情報発信手法等について、Webサイトの現状を踏まえつつ、WGメンバーで議論を行った。

意見等

- ・ホームページの多言語化（特に英語）が必要。
- ・サイクリングルートマップの情報の更新が必要。
- ・自転車初心者向けの情報や観光情報の充実化が必要。
- ・親子向けの自転車ライフ情報の充実化が必要。

4 自転車活用推進計画に関すること

(1) 自転車活用推進計画WG

「滋賀県自転車の安全で適正な利用促進に関する条例」や「ビワイチ推進条例」などに基づく滋賀県独自の自転車の取組を包括する「第2次滋賀県自転車活用推進計画」に位置付けている84種類の取組について、令和6年度の主な取組内容を報告し、WG員からご意見を伺った。

- ・令和7年3月に開催
- ・ビワイチ推進室および道路保全課、教育委員会、その他県庁機関により実施した内容を報告